

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
63	学習支援・登校支援サポーターの派遣	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	学校の授業以外で学習機会の少ない生活困窮家庭や不登校や病気による長期欠席等により学習機会を逃した児童を中心に、基礎学力の向上を図るとともに、ノートやひきこもりにつながる可能性がある不登校問題を解消することを目的とする。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や学校、関係施設を含めた場所で、事業者による貧困等により学習支援等が必要な児童一人ひとりの状況に応じたきめ細かい学習サポートや登校支援等を行う。</li> <li>(1) 学校、保護者等との面談 児童の状況について、地域や学校と連携し、ケース会議や保護者面談等を実施し、支援内容(家庭への支援、児童への支援)を検討する。</li> <li>(2) 学習支援 個別を基本とし、状況に応じて家庭、学校施設等で生活困窮家庭等の児童へ学習支援を行い貧困対策に取り組む。</li> <li>(3) 登校支援等 不登校や不登校傾向にある児童に対して、登校の再開や定着にむけ登校支援を行う。</li> </ul> また、ケース会議等において協議、報告等がなされた事項は「地域福祉推進会議」に報告等を行い、施策提言につなげていく。
	予算額(予算科目)	6,583千円
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月1日～平成31年3月31日
	事業・業務対象者(人数)	区内小学生(約30名)
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式による特名随意契約
	募集要項のポイント	民間事業者の幅広い知識、経験、専門性等のノウハウを駆使した総合的なプログラム等の提案を求める。
	仕様書のポイント	学校、保護者等を面談を行い、対象者一人ひとりに適した支援を実施することにより、不登校の改善、基礎学力の向上に資する実施内容とする。
	選考委員等選定方式	教育、福祉等の専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	様
(前年度) 1 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(主任児童委員等)との連携体制の検討</li> <li>・選定委員の選定、募集要項の作成</li> <li>・公募開始</li> <li>・事業説明会の実施</li> <li>・選定会議の開催</li> <li>・協定書締結</li> </ul>	【1月】ホームページにて公募開始  【3月】選定結果の公表		
4 6月	【6月】・ケース会議等において、対象児童の情報の共有及び支援が必要な児童の抽出 ・学習支援・登校支援の実施 【6月～】こどもサポートネットスクリーニング会議 の場で、関係機関、地域等と情報共有			
9月 7			—	—
12月 1 0			—	—
3月 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末報告の実施</li> <li>・次年度に向けての課題整理</li> </ul>			
備考	4月に予定していた取組を6月以降に繰り延べする。仮称となっていた会議名を「スクリーニング会議」に変更			

項 目		内 容				
講座・イベント・会議名		-				
イベント等開催関係	開催日時	-				
	開催場所	-				
	区役所の主催等	主催	共催	協賛	後援	その他( )
	その他主催団体・組織等	-				
	共催団体・組織等	-				
	後援団体・組織等	-				
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-				
	その他留意事項	-				
	イベント等当日 タイムテーブル	-				
	挨拶者	-				
	来賓紹介	-				
	祝電紹介の方法	-				
	動員の方法	-				
その他、他課との連携等	事業者、区役所(子ども・教育担当・地域福祉・生活支援)、学校が連携して実施する。					
前年度実績	-					
業績目標	対象たる児童、保護者等に丁寧に事業趣旨等を説明し、対象児童の6割に対し、具体支援を行う。	結果	評価			
		81%				
成果目標	事業に参加した子どもが以前より学校の授業が分かりやすくなったと感じる子どもを60%以上にする。 登校支援によることなく登校ができるようになる児童、一定学力の向上、学習習慣の形成が認められる児童の割合： 合わせて30%以上	71.4%				
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3~5年)》 事業に参加した児童は中学進学後も引き続いて、登校できるようにする。  授業がわかる喜びを体感することで、学習意欲が高まり、不登校の解消が期待される。					

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
64	英語力向上の推進	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	<p>社会の様々な面でグローバル化が急速に進み、「使える英語」が求められている。また、2020年度より小学校においても英語が必修化され、中学校に進学する前から取り組んでいくこととなっている。</p> <p>児童・生徒、自らが自発的に英語学習に取り組み、効果的な学習となるように、英語に対する好奇心や興味を育てることを目的とする。</p>
	内容	<p>ネイティブスピーカーによる英語を使った体験型のゲームや文法ゲーム、異文化の紹介や語学有識者による講演などを各校において行い、英語に触れる機会を創出する。</p> <p>ネイティブスピーカー・語学有識者については、経済戦略局の国際交流員を活用するほか、区ホームページ等において、ボランティアを募集する。</p>
	予算額(予算科目)	千円
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月1日～平成31年3月31日 ネイティブスピーカーや語学有識者を派遣
	事業・業務対象者(人数)	区内在住小、中学生
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 } 3月			
	<p>【3月】・実施希望校の募集 先行的に小学校から開始する</p> <p>・実施希望校の選定・決定</p>			
	4 } 6月	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施希望校と具体的な実施内容について協議</li> <li>・ネイティブスピーカー・語学有識者のボランティア募集</li> <li>・実施希望校の募集</li> <li>・実施希望校の選定・決定</li> </ul> <p>【5月～6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先行実施校へ国際交流員を派遣実施</li> </ul>	<p>広報紙、HP、SNSで募集案内</p>	
	7 } 9月	<p>【7月～9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本格実施に向け、先行的に実施した内容を踏まえ実施内容について協議</li> <li>・英語力向上事業の実施</li> </ul>		
	12月 } 10月	<p>【9月～12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語力向上事業の実施</li> </ul>		
	1 } 3月	<p>【1月～3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語力向上事業の実施</li> <li>・アンケート取りまとめ</li> </ul>		
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		(仮称)ネイティブスピーカーと英語でLet's TALK!!		
イベント等開催関係	開催日時	5～3月		
	開催場所	希望校		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( )		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	-		
	後援団体・組織等	-		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	区内小中学生		
	その他留意事項	-		
	イベント等当日 タイムテーブル	1.挨拶 2.趣旨説明 3.体験型イベント等 4.振り返り 5.まとめ		
	挨拶者	-		
	来賓紹介	-		
	祝電紹介の方法	-		
動員の方法	-			
その他、他課との連携等	-			
前年度実績	-			
業績目標	区内小中学校で4校以上実施する。	結果	評価	
		小学校5校 中学校1校		
成果目標	事業実施後アンケートにより、英語が好きと回答する児童・生徒の割合60%	63%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 児童・生徒が英語に好奇心や興味を持って英語学習に取り組み、英語力の向上が図られている状態。  学習に取り組む姿勢として、好奇心や興味を持つことで、英語への学習意欲が高まり、英語力向上が期待される。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
65	「こどもサポートネット」の実施	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	子どもの生活に関する実態調査から「困窮度の高い子育て世帯には複合的な課題がある。」 「諸施策はあるが十分に届かず適切な支援ができていない」ことが明らかになり、教育分野と福祉分野が連携した総合的な支援が必要となっている。 支援の必要な子ども(世帯)を発見し、適切な支援につなぐ仕組みを構築する。
	内容	1. 子どもたちが多くの時間を過ごす学校において、支援の必要な子ども(世帯)を発見する仕組みの構築。 (1) 発見の場の設置 チーム学校において、スクリーニング会議を設置する。 (2) 発見ツールの導入 各校において全児童生徒を対象にしてスクリーニングシートを作成し、課題発見に活用する。 2. 区役所、学校、地域、支援機関が連携し、スクリーニングシートにより抽出された子どもと子育て世帯が抱える課題に対し、総合的支援を効果的に実施。 (1) 必要な支援につなぐアセスメント 区役所(関係課・区SSW・SSW・コーディネーター等)、学校(校長・教頭・養護教諭・担任・SC等)、地域(民生委員・児童委員・主任児童委員・保護司等)、関係機関(こども相談センター、医療機関等)による教育分野・福祉分野の支援の見立て 3. 区役所、学校、地域、支援機関が支援状況を情報共有することにより、より適切で効果的な支援を行う。 (1) 支援状況(進捗)をコーディネーターが把握し、スクリーニング会議で報告する。 (2) スクリーニングシートを定期的に更新することによって支援効果を検証し報告する。 (3) スクリーニング会議で情報共有することにより、支援方針を再検討し、より効果的で適切な支援につなぐ また、会議等において協議、報告等がなされた事項は「地域福祉推進会議」に報告等を行い、施策提言につなげていく。
	予算額(予算科目)	10,748千円(こども青少年局、教育委員会からの配付)
	事業・業務実施期間(回数)	通年
	事業・業務対象者(人数)	区内児童、生徒
	委託関係	契約・入札方法
募集要項のポイント		社会福祉士等の資格の設定
仕様書のポイント		-
選考委員等選定方式		-

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)		広報スケジュール (報告記事も含む)	スケジュール	備考
(前年度)	1 3月			
	4 6月			
	7 9月			
	10 12月			
	1 3月			
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		-		
イベント等開催関係	開催日時	-		
	開催場所	-		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )
	その他主催団体・組織等	-		
	共催団体・組織等	-		
	後援団体・組織等	-		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-		
	その他留意事項	-		
	イベント等当日 タイムテーブル	-		
	挨拶者	-		
	来賓紹介	-		
	祝電紹介の方法	-		
	動員の方法	-		
その他、他課との連携等	地域課、保健福祉課			
前年度実績				
業績目標	・各校(小学校10校、中学校4校)単位でスクリーニング会議を実施し、スクリーニングシートにより支援が必要とされた児童全てを具体支援先へ繋ぐ。(アセスメント会議 スクリーニング会議 に名称変更)	結果	評価	
成果目標	・具体的支援により、課題や状況等が解決、改善された児童の割合:50%	○	○	
中期展望及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3~5年)》 ・支援が必要とされるこどもと世帯数を減少させる。 ・教育分野と福祉分野が連携し、こどもと世帯を総合的に支援し、貧困の連鎖を断ち切る一助にする。			
		4%	x	

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
66	コンプライアンスの確保	平成30年4月1日 総務課・庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	職員のコンプライアンス意識を向上させ、区民に対して説明責任を果たせる組織とすることで、区民の区政に対する信頼を確保する。
	内容	<p>区民に対して説明責任を果たすため、これまで、区長・副区長のマネジメントのもと、さまざまなコンプライアンス意識の向上の取組を行うことで、「来庁者等に対する窓口サービス」の格付で星二つを獲得するなど、一定の成果をあげることができた。</p> <p>しかしながら、コンプライアンス違反に起因した不祥事等が依然として発生している。</p> <p>職員のコンプライアンス意識を向上させ、区民に対しての説明責任を果たすために次のような自律的な取組をうながす。</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視</li> <li>・区長、副区長の顔見て話そう</li> <li>・コンプライアンス、個人情報保護、接遇、契約・会計等に係る研修について、課題に対応した適切な研修テーマを設定するなどして効果的に実施。</li> <li>・人権問題についての理解・認識を深め、人権意識の高揚を図ることを目的とし、人権展への参加による人権研修を実施（追記）</li> <li>・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施</li> <li>・他所属の不祥事案の共有</li> </ul>
	予算額（予算科目）	350千円（接遇研修実施に係る報償金）
	事業・業務実施期間（回数）	通年（各研修は1回以上）
	事業・業務対象者（人数）	区職員全員
	委託関係	契約・入札方法
募集要項のポイント		-
仕様書のポイント		-
選考委員等選定方式		-

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			-	-
4 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> <li>・区長、副区長の各課担当朝礼の参加（5月（各担当1回、計7回））</li> <li>・契約・会計事務研修の準備（6月～）</li> </ul>			
7 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約・会計事務研修の実施（8月）</li> <li>・コンプライアンス推進強化月間の取組（9月）</li> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> <li>・区長、副区長の各課担当朝礼の参加（9月（各担当1回、計7回））</li> <li>・接遇研修の内容検討（7月～9月）</li> </ul>			
1 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇研修の実施（10月）</li> <li>・人権研修の実施（11月）</li> <li>・コンプライアンス研修、個人情報保護研修（12月）</li> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> </ul>			
3 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> </ul>			
備考	（11月）人権研修の実施を追加する。			

項目		内容	
講座・イベント・会議名		-	
イベント等開催関係	開催日時	-	
	開催場所	-	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( )	
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	-	
	その他留意事項	-	
	イベント等当日 タイムテーブル	-	
	挨拶者	-	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
	動員の方法	-	
その他、他課との連携等	特になし		
前年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視（年3回）</li> <li>・区長、副区長の顔見て話そう（年1回）</li> <li>・コンプライアンス、個人情報保護、待遇、契約・会計に係る研修について、課題に対応した適切な研修テーマを設定するなどして効果的に実施（各1回）</li> <li>・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施（9月実施）</li> <li>・人権展への参加による人権研修の実施（1月実施）(追記)</li> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> </ul>		
業績目標	コンプライアンスの確保に向けた研修などの取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視（年3回）</li> <li>・区長、副区長の顔見て話そう（年1回）</li> <li>・コンプライアンス、個人情報保護、待遇、契約・会計等に係る研修の実施（各1回）</li> <li>・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施（9月）</li> <li>・人権展への参加による人権研修の実施(11月)(追記)</li> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> </ul>	結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視（5月・9月・1月）</li> <li>・契約・会計等研修の実施（8月）</li> <li>・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施（9月）</li> <li>・窓口サービスアップ研修の実施（9月～11月）</li> <li>・待遇強化月間の取組の実施（11月）</li> <li>・服務研修、コンプライアンス研修・個人情報保護に関する研修の実施（11月）</li> <li>・人権展への参加による人権研修の実施（11月）</li> <li>・他所属の不祥事案の共有（随時）</li> </ul>	評価
成果目標	不適切な事務処理事案の件数を前年度から10%減とする 「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果において、 以上を獲得する。	不適切な事務処理事案の件数4件で前年度から10%減達成（昨年度5件） 「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果において、 を獲得	
中期展望及び成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望（3～5年）》 コンプライアンスを確保し、区民に対して説明責任を果たすことで、より一層の区政に対する信頼を確保する。		



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
67	光熱水費の削減	平成30年4月1日 総務課・庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	限られた予算の有効活用並びに、環境保全の観点から光熱水費の削減を図る。
	内容	夏・冬場の節電(庁舎内温度の適正管理) 使用しない会議室等の空調管理の徹底 不要な照明の消灯
	予算額(予算科目)	電気: 8,818千円・ガス1,902千円・水道2,044千円
	事業・業務実施期間(回数)	
	事業・業務対象者(人数)	
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 } 3月	・適切な空調管理			
4 } 6月	・適切な空調管理			
7 } 9月	・適切な空調管理			
10 } 12月	・適切な空調管理			
1 } 3月	・適切な空調管理			
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
動員の方法			
その他、他課との連携等			
前年度実績	27 年度電気代 10,260,392 円 27 年度ガス代 2,273,602 円 27 年度水道代 2,154,028 円 28 年度電気代 11,061,400 円 28 年度ガス代 2,366,048 円 28 年度水道代 2,270,607 円 効果額 801,008 円 効果額 92,446 円 効果額 116,579 円		
業績目標	会議室の使用状況を把握(行事予定表等により)し、適正な空調管理に努めるとともに、職員に対しても積極的な節減に努めるよう周知を行う。	結果 光熱水費節減を周知徹底済	評価 ○
成果目標	28 年度実績より光熱水費を 10%経費削減。	28 年度実績より 14.2%削減	○
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 今後は、電力と同様に、ガス事業者の入札や庁舎内照明の LED 化など、経費削減をめざす。また、空調の老朽化により、節減の効率が悪くなることが予想されることから、空調システムの更新が経費的に可能か検討する。		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
68	収入源の確保	平成30年4月1日 総務課・庶務グループ

	項目	内容
事業概要	目的 (事業の背景を含む)	本市では平成18年度以降、歳出の削減や歳入の確保、市債残高の削減、職員数の削減、外郭団体の見直しなど、一定の成果をあげてきた。 しかしながら、大阪市の財政状況は依然として厳しく、より一層の業務の効率化を図り、歳出の削減を図ることとしているが、一方で自ら必要な財源を確保することで、必要な区民サービスを維持し、地域福祉や地域防災等の喫緊の課題に対応する。
	内容	自動販売機、庁舎内広告、自動証明写真機等、庁舎を活用した収入源を確保する。
	予算額(予算科目)	4,507千円
	事業・業務実施期間(回数)	
	事業・業務対象者(人数)	
委託関係	契約・入札方法	・公募型価格提案
	募集要項のポイント	・最低価格の設定
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置機(自動販売機・証明写真機)の継続依頼</li> <li>・更新機(自動販売機・証明写真機)の入札募集開始</li> <li>・庁舎内広告新年度募集(ホームページに掲載)</li> <li>・行政財産目的外使用許可</li> </ul>		○	○
4 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内保育所運営開始</li> <li>・庁舎内広告随時受付</li> </ul>		○	○
7 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内広告随時受付</li> </ul>		○	○
10 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内広告随時受付</li> <li>・新たな収入源の確保に向けて検討</li> </ul>		○	○
1 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内広告随時受付</li> <li>・設置機(自動販売機・証明写真機)の継続依頼</li> <li>・更新機(自動販売機・証明写真機)の入札募集開始</li> <li>・庁舎内広告新年度募集(ホームページに掲載)</li> <li>・行政財産目的外使用許可</li> </ul>		○	○
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名			
イベント等開催関係	開催日時		
	開催場所		
	区役所の主催等	主催	共催 協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
動員の方法			
その他、他課との連携等			
前年度実績		庁舎内広告収入(28年度) 194,000円	写真機収入 792,568円
		自動販売機収入(6台) 1,855,701円	無線LAN収入(2機) 3,240円
		広告付モニター収入 388,800円	
		広告付案内板収入 648,000円	
業績目標	SNS(ツイッター、Facebookなど)やHPをはじめとして様々な手法により、事業者を広く募集することで、新たな収入の確保並びに、寄付等による区役所収入の確保を行う。	結果	評価
		新たな収入源の確保	○
成果目標	事業実施にあたっての安定的な財源の確保。	駐車場有料化開始(H31.4)	○
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 駐車場の有料化などをはじめとして、新たな発想に基づく取組について検討・実施を行う。また、自動販売機についても、売上本数や応札状況により、設置場所や飲料水以外も検討する。		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
69	尻無川河川広場にぎわい創造拠点の管理運営	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	貴重な地域資源である尻無川河川広場を「にぎわい創造拠点」と位置付け、区民はもとより観光客などの来訪者の憩いの場となるとともに、本市観光施策における新たな観光資源として位置づけられた舟運事業の実施により、川と海をつなぎ、さらに水辺とまちをつなぐキ・ステーションとして観光客や内陸部の資源との連動や誘引を積極的に行うなど、中長期的に水辺からまち全体を活性化する。
	内容	尻無川河川広場に飲食店舗やゲストハウス等を事業者により整備・運営を行っていくが、その行政事務手続き等の後方支援やにぎわい創出イベント市会議員・府会議員（各議員に開催案内を送付）
	予算額（予算科目）	11,192千円（14-1 使用料）【同額歳入あり】
	事業・業務実施期間（回数）	通年
	事業・業務対象者（人数）	—
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル（H28）
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3月	施設設置工場の開始			
4 ┆ 6月	随時、広報協力及び事業展開に関する協議等 施設設置工事			
7 ┆ 9月	随時、広報協力及び事業展開に関する協議等			
10 ┆ 12月	随時、広報協力及び事業展開に関する協議等			
1 ┆ 3月	随時、広報協力及び事業展開に関する協議等			
備考	大阪府と事業者と進め方について協議を行う。 設計変更等に際し進捗の遅れがあるため、下記事業スケジュール全体を繰り延べする。 (7～9月)尻無川河川広場内に飲食店舗、(10～12月)ゲストハウスの開設			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( )		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル			
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	(平成29年度) 飲食店舗等設置工事開始			
業績目標	地域と連動したイベント等を運営事業者と連携しながら実施し、イベントの広報活動を行う。	結果	評価	
		未開業	×	
成果目標	年間来場者数 18,000人以上 区民意識調査において、にぎわい創造拠点施設の認知率30%以上	未開業	×	
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3~5年)》 河川広場で展開される事業を地域と連動し、地域のブランド力を向上させ、大正区全体に、そのにぎわい効果を浸透させる。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 地域との連動した取組を実施し、そのブランド力を向上させるにあたり、まずは多くの方々に来訪いただき、認知していただくことが、必要であることから、成果目標を達成することは中期展望を達成に寄与すると考える。</p>			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
70	(独法)都市再生機構と(株)フィル との連携による地域活性化	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	DIY (Do it yourself の頭文字 自分でするの意) を軸とした新たな拠点を独立行政法人都市再生機構と株式会社フィルと連携して展開し、千島団地へ若い世代の呼び込みを行い、地域の活性化を目指す。
	内容	千島団地を全戸 DIY 可能住宅とするとともに、DIY 工房や音楽スタジオ等の整備を行い、若い世代の入居を促進する。
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	通年
	事業・業務対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	
(前年度) 1 } 3月	随時、広報協力			
4 } 6月	随時、広報協力			
7 } 9月	随時、広報協力			
10 } 12月	随時、広報協力			
1 } 3月	随時、広報協力			
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等		—		
前年度実績	(平成29年度) 大正クラフトライフマーケット開催 千島団地現地案内所 来場者数 554組(昨年度比2.5倍)(平成28年度)			
業績目標	千島団地現地案内所 来場者前年比増	結果 増 (聞き取り)	評価	
成果目標	千島団地空室率の低下 (独法)都市再生機構に要望により空家率非公表のため、 掲載せず)	20室程度の 改善	(聞き取り)	
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3~5年)》 千島団地へ移り住んだDIYを好む若い世代の方々が、それぞれのスキルを活かした起業を大正区内で促していくことも視野に入れ、都市活動の活発化へも寄与できるように協力体制を強化していく。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 大規模団地である千島団地の空室率の改善は、すなわち人口増へ直結する指数であり、本成果目標の達成が中期展望へ寄与することとなる</p>			



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
71	<b>高校と区内企業とのインターンシップ(就業体験)の実施</b>	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	生徒がものづくりの実務を体験し、日常の授業内容の意味と意義に気づくことで、学業への理解を深めるとともに、学習意欲を向上させる。生徒が、家族・地域・学校以外で社会人と接する経験を得ることで、社会性を修得する。生徒がものづくりの現場を知り、社会動向と技術動向の現在を知る。生徒が自身の関心、適性について見つめ直し、就職、進学に向けて考える契機とする。企業が教育現場の現在と生徒の指向を知り、雇用へ向けた取り組み、オンザジョブトレーニングのあり方を考える契機とする。行政が地域の人材に地域の企業を知ってもらう契機とし、地域の人材と地域の企業との適切なマッチングを促進することで、豊かな地域社会を築き、地域社会を活性化させる契機とする。 また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	学校教育の一環として、高校生が受入申し出のあった区内企業で就業体験を行う。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No72、73、74、75、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	3月
	事業・業務対象者(人数)	区内高等学校および府内工業高校(H29実績 3校6社13人)
委託関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選定方式	-

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	【3月下旬】就業体験の実施(体験・参加者報告書・受入企業報告書作成)	区やものづくり実行委員会のフェイスブックや区HPにて周知。		
6月 4	大正・港ものづくり事業実行委員会にて平成29年度実施分の検証			
9月 7	大正・港ものづくり事業実行委員会にて平成30年度実施に向けた検討			
12月 10	【12月初旬】区内企業受入照会、受入企業決定 【12月中旬】学校への受入企業一覧の提示			
1 3月	【1月上旬】生徒申込 【1月中旬】受入企業決定 【~2月初旬】学校、企業間の日程・内容・準備物調整、先生・生徒の事前訪問 【3月下旬】就業体験の実施(体験・参加者報告書・受入企業報告書作成)	区やものづくり実行委員会のフェイスブックや区HPにて周知。		
備考	【翌年度4月以降】検証(生徒から報告書提出)			

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		大正・港ものづくり事業実行委員会 会議	
イベント等開催関係	開催日時	—	
	開催場所	—	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他（実行委員 ）	
	その他主催団体・組織等	大正・港ものづくり事業実行委員会	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	—	
	目標事業規模 （参加者・参加団体数等）	6社 13名	
	その他留意事項	—	
	イベント等当日 タイムテーブル	具体的な受け入れ企業と参加学校により調整	
	挨拶者	—	
	来賓紹介	—	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—		
前年度実績	平成 29 年度 1 回開催（3 校 6 社 13 名参加）		
業績目標	前年度実績を上回る。	結果	評価
		3 校 6 社 10 名	×
成果目標	区民意識調査にてものづくり事業実行委員会主催事業を知っている区民の割合 85.2%	63.4%	×
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望（3～5年）》 生徒が卒業後の進路として、区内企業をはじめとしたものづくり企業への就職を選択肢とすること。また、区内企業においては、人材育成のノウハウを蓄積し、事業の活性化を行う。区内企業での採用が継続することにより、事業所の減少を食い止め、バス交通インフラの確保と経済圏の維持を期待する。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 受け入れ企業においては、人材育成ノウハウの習熟の機会、派遣元の学校等関係づくりとして有効であること、生徒においては、現場を経験することにより選択肢の幅ができる、あるいは選択肢として外すことで採用のミスマッチを防ぐことにつながり、効率的な求人と効果的な採用が期待できる。</p>		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
72	大正・港オープンファクトリーの実施	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区は古くから鉄鋼をはじめとする多くの製造工場があり、大阪市内有数のものづくりのまちとして発展してきた。しかし産業構造の変化等から事業所数も減少し区内大手企業も業務縮小・撤退の傾向にあり、工業事業所数の推移を見ても、商品売上や人口減少と同様のカーブで減少している。 この状況を打開するため、ものづくり企業の活性化策の一つとして、ものづくりのブランド化と企業間のネットワークの形成や企業と参加者との交流を図り、操業環境の整備や雇用の確保等に繋げることにより、地域の中で操業する企業の活性化と地域の活性化に繋げていく。 また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	“ものづくりのまち”大正区と港区で操業する企業が、工場を2日間一斉に開放し、普段は見ることのできない工場内部の様子や、職人達の技や伝統を間近で見ることができる。その他、魅力ある区内の観光スポットも、工場見学と合わせて巡る街歩きツアーも行う。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、73、74、75、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	11月頃(2日間)
	事業・業務対象者(人数)	区民等(H29実績180名)
委託関係	契約・入札方法	-
	募集要項のポイント	-
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選定方式	-

		スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 3月			-	-
	6月			-	-
	7 9月	9月初旬 企画会議の開催 9月中旬 受け入れ企業の選定、コースの設定、 9月下旬より 参加者の募集	9月中旬 チラシ等作成、報道発表		
	10 11 12月	10月下旬 応募締切 11月下旬 事業実施 12月上旬 事業の振り返り	10月 広報紙掲載、区HP、フェイスブック(区、実行委員会)での周知。		
	3月			-	-
	備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		オープンファクトリー	
イベント等開催関係	開催日時	11月16日(金)17日(土)(2日間)	
	開催場所	区内企業等	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( 実行委員として参画 )	
	その他主催団体・組織等	大正・港ものづくり実行委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	2日間で200人程度。受け入れ先20か所程度。	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	1日目午前・午後、2日目午前・午後の半日のプランでコース設定。	
	挨拶者		
	来賓紹介		
	祝電紹介の方法		
動員の方法			
その他、他課との連携等			
前年度実績	H29実績 12コース 24企業、180名参加。		
業績目標	前年度実績を上回る。	結果	評価
		12コース20社 160人	×
成果目標	区民意識調査にてものづくり事業実行委員会主催事業を知っている区民の割合 85.2%	63.4%	×
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3~5年)》 地域住民からの操業への理解が進んでいる一方で、参加企業が一つの事業に取り組むことによって、ネットワークを構築することを期待し、もって積極的な地域活動や防災防犯活動への協力が得られている状態を目指す。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 事業参加者の意識の変化により、地域の中で操業する企業への理解が進み、企業としてもCSR(企業の社会的責任)マインドが充足され、地域への関与・参画を促進することとなる。</p>		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
73	ファクトリーステイ in 大正の実施	平成30年4月1日 総務課・政策プロジェクトグループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	人口増加や中小企業の活性化を目指すにあたり、これまで、修学旅行生の工場見学ツアーや地元学生のインターンシップに取り組んできた。そうした取り組みをさらに発展させ、より大正のまちに愛着をもって、将来的には大正区に住む、大正区の企業で働いてもらう。 また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	区内のゲストハウスに宿泊しながら、区内ものづくり企業等に就業体験しと大正区での生活を体験する。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、72、74、75、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	8月に1回
	事業・業務対象者(人数)	20歳代の男女(8月5名、9月10名)
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 } 3月	3月末まで 受け入れ企業の募集、事業の周知 3月中に参加応募開始	大学、高等専門学校等への説明		
4 } 6月	5月中旬 応募締切 5月下旬 応募者の選考 6月 参加者、来賓との日程調整	4月 広報紙へ掲載 HPへの掲載 報道発表		
7 } 9月	7月初旬 区民の開校式参加者の募集 8月 事業実施 10月 事業振返り	区、実行委員会のフェイスブックによる実施報告		
10 } 12月			-	-
1 } 3月			-	-
備考	応募者が著しく少数であるため、開校式の開催内容を縮小した。			

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		ファクトリーステイ in 大正 開校式	
イベント等開催関係	開催日時	ファクトリーステイ初日 午前9時～	
	開催場所	区長応接室	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( 実行委員として参画 )	
	その他主催団体・組織等	大正・港ものづくり事業実行委員会	
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者、受け入れ企業代表者	
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	9時～ 区長挨拶 9時10分～ 来賓挨拶 9時30分～ 参加者自己紹介、決意表明 9時45分 終了 終了後参加者向けオリエンテーション	
	挨拶者	区長	
	来賓紹介	—	
祝電紹介の方法			
動員の方法	—		
その他、他課との連携等			
前年度実績	H29実績 4名(8月期3名、9月期1名)		
業績目標	10名	結果	評価
		1名	×
成果目標	区民意識調査にてものづくり事業実行委員会主催事業を知っている区民の割合 85.2%	63.4%	×
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 本事業参加者が区民に歓迎を受けるとともに、インターン受入企業に採用、または、当区での居住を開始する。まち全体で移住を受け入れ、それにより住民にも活力が生まれる状態を目指す。  《成果目標が中期展望に寄与する理由》 区民の認知度や参加者の満足度が高まることで、大正区の魅力発信の効力がより強く伝わることになり、参加者はもとより、それ以外の求職者に対しても、区内企業への採用や居住につながる事が期待できる。		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
74	ものづくりフェスタの開催	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区民の方にもものづくりの素晴らしさを知ってもらい、親しみを持つことにより、今後の就労希望者の増加と区内ものづくり企業への理解を深めると同時に、区内のものづくり企業のネットワーク形成を促し、相互連携を深め、域外へのキャッシュアウトを防ぐことを目的とする。また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	区内の小中学生及びその保護者の方をメインターゲットとして、出展企業がチームを組んで、大正区の「ものづくり」の素晴らしい技術を分かりやすく紹介する体験型イベント。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、72、73、75、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	8月上旬
	事業・業務対象者(人数)	延べ1,500名(イベント参加者含む)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	主点・協賛企業募集			
4 6月	4月 実施決裁 協定書の締結(実行委員会) 実行委員会、企画会議の開催 5月 企画会議の開催 6月 企画会議の開催、議員への案内			
7 9月	7月 広報チラシの配布(全小中学校性) 広報紙への掲載 企画会議の開催 8月 企画会議の開催 「ものづくりフェスタ」の開催 9月 企画会議(イベント総括)、次年度開催の決定	7月号広報紙掲載 区HPへの掲載 報道発表 フェイスブックでの周知(区、実行委員会)		
10 12月	10月 記録集の作成・送付			
1 3月			—	—
備考				

項目		内容	
講座・イベント・会議名		ものづくりフェスタ 2018	
イベント等開催関係	開催日時	8月4日(土)	
	開催場所	大正区民ホール等	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( 実行委員会構成員として参加 )	
	その他主催団体・組織等	大正・港ものづくり事業実行委員会	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	—	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者：1,000名 協力企業：90社(協賛企業含む)	
	その他留意事項	—	
	イベント等当日 タイムテーブル	9:00 内覧会実施 10:00 区長・実行委員会委員長 挨拶、来賓議員紹介 10:30 イベントスタート 16:00 イベント終了	
	挨拶者	区長・実行委員会委員長	
	来賓紹介	市会議員・府会議員(各議員へ開催案内を送付)	
	祝電紹介の方法	—	
	動員の方法	—	
	その他、他課との連携等	—	
前年度実績	来場者：1,051名 協力企業：82社		
業績目標	来場者数：1,000名以上 協力企業：100社以上	結果	評価
		600名 103社	×
成果目標	新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数 【平成30年度】5件 ・ものづくり事業実行委員会主催事業を知っている区民の割合 85.2% ・大正区を「ものづくりのまち」として誇りに思う区民の割合 86.1% ・企業が地域の活動に寄与していると感じている区民の割合 69.8%	・5件 ・63.4% ・83.7% ・55.7%	×
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 地域や区内企業が構築している繋がりを通じて地元へ根差した企業として域外流出することなく、更に区内企業との新たな連携の構築と新規雇用者に区内居住を促していくことにより、都市活動の活性化に寄与するとともに流入人口の増加に寄与していく事業の一つとして機能させていく。人口の流入により、交通や商業の撤退を防ぐことを期待する。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 地域と企業との連携(交流)できている状況が、本事業が中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。イベントを通じて、住民が区内の工場に対する嫌悪感が緩和し、人口の流入阻害要因の解消につながると考えられる。</p>		



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
75	修学旅行をはじめとする工場見学会の実施	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区内の高度な技術を有するオンリーワン企業や、創業から100年を迎える伝統のある企業が多く存在するというのは地域の最大の資源(強み)である。参加者にもものづくりの素晴らしさや面白さ、大切さを身近に感じてもらい、将来の働き、生活する場所として、大正区を選んでいただけるようPRすること。そして、区内企業や住民が“ものづくりのまち大正”の価値や魅力に誇りに感じ、操業あるいは住み続けていただき、人口減少傾向に歯止めをかける。また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	最大の資源である工場群を活用した工場見学ツアーに、大正区の区内学校、地域団体や区外からの校外学習の他、全国からの修学旅行生を本格的に受入れ、工場等の見学を行う。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、72、73、74、76、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	H28実績 32回
	事業・業務対象者(人数)	H28実績 2,079名
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月		地下鉄駅構内ポスター 掲示(難波・大正)		
4 6月	随時、工場見学の受付および見学会の実施を行う。	フェイスブック (区、実行委員会) 区HPでの周知		
7 9月	随時、工場見学の受付および見学会の実施を行う。	フェイスブック (区、実行委員会) 区HPでの周知		
10 12月	随時、工場見学の受付および見学会の実施を行う。	フェイスブック (区、実行委員会) 区HPでの周知		
1 3月	随時、工場見学の受付および見学会の実施を行う。	フェイスブック (区、実行委員会) 区HPでの周知		
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		全国修学旅行生 ものづくり工場見学ツアー		
イベント等開催関係	開催日時	通年		
	開催場所	区内企業等		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他（大正・港ものづくり事業実行委員会）
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 （参加者・参加団体数等）	修学旅行生等		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	1～2時間の区内工場等の見学		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	区役所職員、ボランティアがスタッフとして参加		
その他、他課との連携等	工場見学を実施するにあたっては職員等の同行を行うこととしており、必要があれば、ボランティアや他課からの応援を依頼している。			
前年度実績	H28年度 実績 32回 2,079名			
業績目標	30回 2,000名	結果	評価	
		21回 1,743名	×	
成果目標	区民意識調査において、大正区を「ものづくりのまち」として誇りに思う区民の割合 86.1%	83.7%		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望（3～5年）》 大正区のアイデンティティである「ものづくりのまち」が魅力として、区の内外に浸透し、工場に対する悪いイメージが払しょくされ、むしろ誇りに思うと考える住民が増え、人口の流出がとどまっている状態を目指す。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 ものづくりの工場で働きたいという意見が多いことは、企業が持っている魅力が伝わった証であり、満足度の高い工場見学を行うために準備を行うことは、企業イメージの向上や2次産業自体のイメージ向上につながるため。誇りを感じている状況は、工場に対するよいイメージがある証拠であり、工場があることを要因とする人口の流出が少なくなることを示すことになる。</p>			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
76	人材確保に向けた区内企業と高等学校との交流会の開催	平成30年4月1日 総務課・政策プロジェクトグループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区では人口の流出が喫緊の課題であるが、これは区内の事業所、従業員の減少と相関にある。ものづくり企業への就職の可能性比較的高い区内の高校と府内の工業高校に通う学生の定着を図り、ものづくり企業の衰退と人口減少を食い止める。 また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	企業の人事担当者と高校の進路指導担当者と一堂に会し、名刺交換と進路状況や採用環境に関する情報交換を通じて交流を深め、就職先の確保や今後の人材確保の参考とする。
	予算額(予算科目)	2,021千円 No71、72、73、74、75、77を含む
	事業・業務実施期間(回数)	1回
	事業・業務対象者(人数)	区内高校と府内工業高校 4校と20社程度
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			-	-
4 6月	5月初旬 実施日程の調整、議員へ出席の交渉 5月中旬～6月上旬 参加校・企業の募集、事前質問の受付 6月中旬 事前資料の配布 6月下旬 事業実施	企業廻りに併せて、 募集・告知を行う。		
7 9月			-	-
10 12月			-	-
1 3月			-	-
備考	8月実施のものづくりフェスタの協賛依頼のため、企業廻りを行うに併せ、募集・告知を行う。実施時期を変更する場合は、告知の方法の見直しを要する。			

項目		内容		
講座・イベント・会議名		人材確保に向けた区内企業と高等学校との交流会		
イベント等開催関係	開催日時	6月下旬		
	開催場所	大正区民ホール		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他(大正・港ものづくり事業実行委員会)
	その他主催団体・組織等			
	共催団体・組織等			
	後援団体・組織等			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	4校・20社(約30人)		
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル	16時 開会 ~16時5分 区長挨拶 ~16時10分 市議員紹介 ~16時40分 参加者自己紹介 ~16時50分 名刺交換会 ~17時20分 フリーディスカッション 17時30分 閉会		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法			
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等				
前年度実績	H29 4校、20社			
業績目標	年1回開催する	結果	評価	
		1回開催 6校 24社		
成果目標	参加企業と高校にアンケート調査を行い、交流会の実施が採用に際し有意義であるとする回答率80%以上	85.7%		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3~5年)》 参加している高校から継続的に区内企業への採用がなされている状態を目指す。  《成果目標が中期展望に寄与する理由》 本事業が有意義なものと認識されることにより、本事業の参加している企業が、進路担当者に存在や魅力が認識され、他社に比して有利な採用環境を醸成する			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
77	ものづくり企業への社会的責任（CSR）の啓発	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	企業の活動は、第一には利潤の追求であるが、一方で、納税や雇用の創出など、社会的な基盤を支えなければならないという考え（CSR）の重要性は高くなっている。持続的な企業経営を行うこともその一つで、中小企業においては、そのリソースの多くが生産活動に配分されてしまうため、変化する環境に対応する能力や知識が備えられず廃業することもある。単なる経営セミナーではなく、元気な企業が地域活動に参加し、利益が社会へ還元される環境を目指す。また、ものづくり事業全体を通して大正区としてのシビックプライドの醸成に寄与する。
	内容	今企業に必要な知識を積極的に獲得できる機会を設ける。専門家の講義を受講いただき、現在企業が抱えている課題解決を図る。
	予算額（予算科目）	2,021千円 No71、72、73、74、75、76を含む
	事業・業務実施期間（回数）	1回
	事業・業務対象者（人数）	30社程度
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 3月		-	-
4 6月	企業の課題、ニーズの把握			
7 9月	企業の課題、ニーズの把握			
10 12月	10月初旬 講義内容の選定 ～11月末 講師への講義依頼 ～12月末 参加企業の募集			
1 3月	1月～3月 セミナーの開催			
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		(仮)ものづくり人材の育成を通じた区内企業の体力強化セミナー		
イベント等開催関係	開催日時	未定		
	開催場所	大正区民ホール		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( 実行委員会の構成員として参加 )
	その他主催団体・組織等	大正港ものづくり事業実行委員会		
	共催団体・組織等	大阪商工会議所西支部等		
	後援団体・組織等			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	30社		
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル	15:30～ 開場 16:00～ 区長挨拶 16:05～ 来賓挨拶 16:10～ 講演 16:30～ 名刺交換会 17:00～ 閉会挨拶 懇親会		
	挨拶者	区長、ものづくり事業実行委員会委員長		
	来賓紹介	市会議員・府会議員(各議員に開催案内を送付)		
	祝電紹介の方法			
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	講師・テーマの選定にあたり、必要があれば大阪商工会議所、経済戦略局産業振興課や大阪産業創造館の協力を請う。			
前年度実績	H28 2回(17社29名、80名)			
業績目標	年1回の開催	結果	評価	
		1回		
成果目標	参加者アンケートを実施し、セミナーの内容が今後の経営に生かせるとする回答率 80%以上。	92%		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 企業が継続的に活動できており、企業の社会的責任として、納税、雇用の維持はもとより、地域住民と協働し、防災防犯活動等を行う。  《成果目標が中期展望に寄与する理由》 時期により企業が必要とする情報には変化があり、タイムリーなセミナーの開催と知識の習得によって、経営状況の良化が期待できる			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
78	区運営方針の策定	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	自律した自治体型区政運営の推進に向け、地域としての区の将来像や施策展開の方向性等をとりまとめた「区将来ビジョン」の単年度ごとのアクションプランとして「運営方針」を策定する。
	内容	地域課題に対して、どのような状態にしたいかを具体的に示すとともに、成果が測定可能な目標（アウトカム）を設定して達成状況をチェックし、PDCAサイクルを回す。効果的な取組であると区長会議において判断された内容を検討し、可能なものを実施する
	予算額（予算科目）	—
	事業・業務実施期間（回数）	—
	事業・業務対象者（人数）	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 2 3月	2月 運営方針（案）の公表 3月 運営方針の公表			
4 5 6月	5月 平成29年度運営方針の振返り			
7 8 9月	9月 区運営方針策定に係る照会			
10 11 12月	11月 区運営方針（素案）公表			
1 2 3月	2月 運営方針（案）の公表 3月 運営方針の公表			
備考	2月 運営方針（案）の公表、3月 運営方針の公表、5月 平成29年度運営方針の振返りについて追記			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	(平成28年度) 区運営方針の策定			
業績目標	区運営方針の策定	結果	評価	
		策定を行った		
成果目標	日頃から PDCA サイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合 30年度 84%以上	89.1%		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 区将来ビジョンに沿った区運営方針を策定し、PDCAサイクルを回していく。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるPDCAサイクルの徹底を行うことが、将来ビジョンに描かれたあるべき姿を達成する基盤となるため。</p>			



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
79	区CM(シティマネージャー)自由経費予算の算定	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区CM(シティマネージャー)として、区域内の基礎自治に関する施策や事業のうち、区CMが決定権を有する事業に関する予算を調製する。
	内容	区CM(シティマネージャー)として、区域内の基礎自治に関する施策や事業に関する予算の算定を行う。
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	—
	事業・業務対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月			—	—
4 ┆ 6 月			—	—
7 ┆ 9 月	9月 区CM予算案算定に係る照会			
10 ┆ 12 月	11月 区CM予算案の作成			
1 ┆ 3 月	予算案の公表			
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	(平成29年度) 予算案の策定			
業績目標	予算案の策定	結果	評価	
		予算案の策定		
成果目標	区民意識調査にて区シティマネージャー制度を知っている区民の割合 20%以上	11%	×	
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 区域内の基礎自治に関する施策・事業の実質的な責任者となる。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 予算を調製することにより、市域一律ではなく、それぞれ異なる地域課題に対して地域にあった、特色ある取組を行うことが出来るため。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
80	弁護士による無料法律相談の実施	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	法的知識を要する問題を抱える市民の問題解決のため、弁護士が情報提供や助言を行い、市民福祉の増進に寄与することを目的とする。
	内容	弁護士による無料法律相談(毎月第1～第4水曜日 午後1時～5時)
	予算額(予算科目)	市民局予算
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月(年48回 毎月第1～第4水曜日)
	事業・業務対象者(人数)	各回定員8名(相談時間は1人30分)
委託関係	契約・入札方法	市民局で契約
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	弁護士による無料法律相談を実施		○	○
4 6月	弁護士による無料法律相談を実施		○	○
7 9月	弁護士による無料法律相談を実施		○	○
10 12月	弁護士による無料法律相談を実施		○	○
1 3月	弁護士による無料法律相談を実施		○	○
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		弁護士による無料法律相談	
イベント等開催関係	開催日時	毎月第1～第4水曜日 午後1時～5時	
	開催場所	大正区役所5階503会議室	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他(市民局実施事業)	
	その他主催団体・組織等	大阪弁護士会へ委託	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	—	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	各回定員8名(相談時間は1人30分)	
	その他留意事項	—	
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者	—	
	来賓紹介	—	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	—		
その他、他課との連携等			
前年度実績	年間48回開催 (H28相談者数365人/定員384 95.1%)		
業績目標	弁護士による無料法律相談(年48回開催)	結果	評価
		48回開催	○
成果目標	定員に占める相談者の割合:90%以上 相談者の満足度(アンケートで「満足した」「やや満足した」と回答した人の割合):90%以上	相談者の割合 95.3% 満足度92.6%	○
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 区広報紙などで周知を行い、無料法律相談の浸透を図る。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 相談者を増加させるとともに相談者の満足度を高めることが、事業を浸透させる前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。</p>		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
81	不動産に関する無料相談の実施	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	市民が生活する上で生じる不動産の賃貸及び売買や宅建業法に関する一般的な相談に応じて助言を行い、もって市民の利益保護に資することを目的とする。
	内容	全日本不動産協会大阪府本部中央支部及び大阪府宅地建物取引業協会と協定を締結し、不動産に関する無料相談を実施。(4・7・10・1月の第3火曜日 午後1時～4時)
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	年4回(4・7・10・1月の第3火曜日)
	事業・業務対象者(人数)	各回定員6名(相談時間は1人30分)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月	1月 不動産に関する無料相談を実施		○	○
4 ┆ 6 月	4月 不動産に関する無料相談を実施		○	○
7 ┆ 9 月	7月 不動産に関する無料相談を実施		○	○
10 ┆ 12 月	10月 不動産に関する無料相談を実施		○	○
1 ┆ 3 月	1月 不動産に関する無料相談を実施		○	○
備考				

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		不動産に関する無料相談	
イベント等開催関係	開催日時	4・7・10・1月の第3火曜日 午後1時～4時	
	開催場所	大正区役所 2階さわやか広場	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他( )	
	その他主催団体・組織等	全日本不動産協会大阪府本部中央支部、大阪府宅地建物取引業協会	
	共催団体・組織等	—	
	後援団体・組織等	—	
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	各回定員6名(相談時間は1人30分)	
	その他留意事項	—	
	イベント等当日 タイムテーブル		
	挨拶者	—	
	来賓紹介	—	
	祝電紹介の方法	—	
動員の方法	—		
その他、他課との連携等			
前年度実績	年4回開催(H28相談者数18+2人/定員24+2 76.9%)		
業績目標	不動産に関する無料相談(年4回開催)	結果	評価
		年4回開催	○
成果目標	定員に占める相談者の割合:80%以上 相談者の満足度(アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した人の割合):80%以上	相談者の割合 91.7% 満足度90.9%	○
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 区広報紙などで周知を行い、不動産相談の浸透を図る。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 相談者を増加させることが、事業を浸透させる前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。</p>		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
82	関係行政機関との連絡調整（行政連絡調整会議・小会議の開催）	平成30年4月1日 総務課庶務グループ

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区内の行政運営上連絡調整を要する具体的措置について協議し、大正区における総合行政の推進に資するため
	内容	行政連絡調整会議の開催 行政連絡調整会議小会議の開催
	予算額（予算科目）	—
	事業・業務実施期間（回数）	年12回 毎月第2火曜日      年4回 6・9・12・3月第3木曜日
	事業・業務対象者（人数）	27人      23人
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等）		広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 ┆ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政連絡調整会議の開催（毎月第2火曜日）</li> <li>・行政連絡調整会議小会議の開催（3月第3木曜日）</li> </ul>	○	○
	4 ┆ 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員決定（4月上旬）</li> <li>・行政連絡調整会議の開催（毎月第2火曜日）</li> <li>・行政連絡調整会議小会議の開催（6月第3木曜日）</li> </ul>	○	○
	7 ┆ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政連絡調整会議の開催（毎月第2火曜日）</li> <li>・行政連絡調整会議小会議の開催（9月第3木曜日）</li> </ul>	○	○
	10 ┆ 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政連絡調整会議の開催（毎月第2火曜日）</li> <li>・行政連絡調整会議小会議の開催（12月第3木曜日）</li> </ul>	○	○
	1 ┆ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政連絡調整会議の開催（毎月第2火曜日）</li> <li>・行政連絡調整会議小会議の開催（3月第3木曜日）</li> </ul>	○	○
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		行政連絡調整会議	行政連絡調整会議小会議	
イベント等開催関係	開催日時	毎月第2火曜日 午後4:30～	6・9・12・3月第3木曜日 午後4:30～	
	開催場所	大正区役所5階502会議室		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル			
	挨拶者	区長 -		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他、他課との連携等	全課			
前年度実績	12回開催	4回開催		
業績目標	行政連絡調整会議の開催(年12回) 行政連絡調整会議小会議の開催(年4回)	結果	評価	
		①11開催 ②4回開催		
成果目標	会議での意見交換等により情報共有が図られた事例 ( ): 12件(平成28年度の実績値: 10件) 同上: 4件(平成28年度の実績値: 1件) 主に防災(台風等災害対応)・防犯(特殊詐欺被害 状況など)関連	①15件 ②4件	○	
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 情報共有や意見交換を通じて、区内行政機関が協力して区政に資する会議運営を行う。  《成果目標が中期展望に寄与する理由》 連絡調整会議の場において区内情報や課題に関して共有する具体的措置を図ることが中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。			



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
83	赤バス廃止に伴い必要となる移動手段の確保	平成30年4月1日 総務課・政策プロモーショングループ

	項目	内容
事業 ・ 業務 概要	目的 (事業の背景を含む)	赤バス廃止に伴い、大正区民が済生会泉尾病院を受診する際、特に松葉杖や車椅子の利用者など病院に至る坂道の上り下りが困難な方に対し、必要となる代替移動手段を確保することを目的に、送迎用自家用車を共同で導入。
	内容	済生会泉尾病院と協定を締結し、済生会泉尾病院と大正区役所を結ぶ自家用自動車を運行 (運行時間：月～金曜日 8:00～16:00、土曜日 8:00～14:00、日・祝日など病院の休診日は運休)
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年4月 (月～金曜日 8:00～16:00、土曜日 8:00～14:00、日・祝日など病院の休診日は運休)
	事業・業務対象者(人数)	
委 託 関 係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行			
4 ┆ 6 月	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行			
7 ┆ 9 月	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行			
10 ┆ 12 月	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行			
1 ┆ 3 月	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行			
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名				
イベント等開催関係	開催日時			
	開催場所			
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等			
	共催団体・組織等			
	後援団体・組織等			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)			
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル			
	挨拶者			
	来賓紹介			
	祝電紹介の方法			
動員の方法				
その他、他課との連携等				
前年度実績		済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行(利用者数: のべ 47,420 人)		
業績目標	済生会泉尾病院～大正区役所間を結ぶ自家用自動車を運行 (利用者数; 48,000 人/月平均 4,000 人以上)	結果	評価	
		45,712 人		
成果目標	利用者の満足度: 90%以上	94.4%		
将来展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	<p>《中期展望(3～5年)》 済生会泉尾病院の協力を得ながら、将来にわたり安定的に移動手段を確保する。</p> <p>《成果目標が中期展望に寄与する理由》 利用者の高い満足度を得ることが、中期展望へ寄与する前提となるため。</p>			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
84	大正区まちづくり活動の強化推進（地域版）	平成30年4月1日 地域課地域活動支援担当

	項目	内容
事業概要	目的 (事業の背景を含む)	地域社会が抱える課題はより一層複雑・多様化しており、様々な地域課題を解決するうえでその原動力となる地域まちづくり活動の強化推進に取り組むことは非常に重要な課題であるなか、これまで培われてきた各種団体等のノウハウを活かし、わがまち意識・ふるさと意識を高め、自らのまちは自ら守るという自律した意識のもと、地域コミュニティを基盤とした災害時における住民同士の救助活動や見守り活動、まちづくり活動への参加など、より一層の自助・共助にかかる機運の醸成をめざし、心のふれあう住み心地の良いまちづくりに資することを目的とする。
	内容	各地域で地域課題の解決に向けて、準行政的な機能を発揮しながら活動を行う地域まちづくり実行委員会と、十分に協議・連携しながら、概ね小学校区を単位とした地域毎に防災・防犯、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツ・教育に関する7分野の事業を企画立案し実施するとともに、さまざまな形で地域住民が交流し、今後の地域における活動の担い手拡大に繋がる仕組みを企画しながら事業展開を図る。
	予算額（予算科目）	21,233千円
	事業・業務実施期間（回数）	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者（人数）	区内全10地域まちづくり実行委員会
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	本事業は、身近な地域毎における地域まちづくり活動の強化推進をはかり、心のふれあう住み心地の良いまちづくりに資することを目的としており、広く地域住民や各種団体が参画する仕組みを構築し、様々な事業を展開するうえで、行政にはない新たな発想や、民間事業者の高いノウハウを求めており、価格以外の要素も含めて総合的に判断する。
	仕様書のポイント	各事業を単にイベントとして開催するのではなく、広く地域住民や地域の各種団体が参画する仕組みを構築でき、地域活動協議会や区民等との協働のうえ、身近な地域毎におけるコミュニティの育成につながる企画提案を求める。
	選考委員等選定方式	地域活動、市民活動、社会福祉、地域コミュニティ活性化に関する有識者

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	【1月】プロポーザル公募開始 【3月】プレゼンテーション・選定会議			
4 6月	【4月】・29年度委託料精算・30年度委託契約締結 【5月】・30年度委託料説明会（第1回）(マニュアル配布) 概ね小学校区を単位とした地域毎で実施する事業の履行確認（通年）			
9月	概ね小学校区を単位とした地域毎で実施する事業の履行確認（通年）			
12月	概ね小学校区を単位とした地域毎で実施する事業の履行確認（通年）			
1 3月	概ね小学校区を単位とした地域毎で実施する事業の履行確認（通年）			
備考	(7月以降)概ね小学校区を単位とした地域毎で実施する事業の履行確認（通年）を追加。 【1月】プロポーザル公募開始、【3月】プレゼンテーション・選定会議、を削除			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名				
イベント等開催関係	開催日時			
	開催場所			
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等			
	共催団体・組織等			
	後援団体・組織等			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)			
	その他留意事項			
	イベント等当日 タイムテーブル			
	挨拶者			
	来賓紹介			
	祝電紹介の方法			
動員の方法				
その他、他課との連携等	準行政的に地域運営を行なう地域まちづくり実行委員会の取り組みは、区行政に密接にかかわってくること、またその活動内容は多岐に渡ることから、全庁的に連携が必要である。			
前年度実績	さまざまな市民活動団体が集まって、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていると思う区民の割合 32.0% 地域活動協議会の構成団体同士の連携・協働の支援が役に立ったと思う区民の割合 65.7%			
業績目標	補助金（コミュニティ育成事業）の考え方（趣旨）について、地域活動協議会の会議の場などで説明を行った回数 2回	結果	評価	
		全体説明会 2回 地域説明会 50回		
成果目標	身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 【平成 29 年度】30% 【平成 30 年度】29 年度実績値に比べて 2.5%増 (49.2%) 地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合 【平成 29 年度】15% 【平成 30 年度】前年度以上 (22%) 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 【平成 29 年度】 40% 【平成 30 年度】前年度以上 (48%)	50.9%		
		21.8% 49.6%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望（3～5年）》 準行政的に地域運営を行う地域まちづくり実行委員会として、民主的で開かれた地域運営を行うとともに、地域福祉・地域防災の機能を強化し、地域住民から認知され地域包括支援体制の地域の窓口として活動する。また、CB/SB 化や社会的ビジネス化による自主財源の確保をすすめ、今後後継者を確保するため若い世代で構成された地域団体の加入を促しネットワーク化を図るとともに、NPOや企業などさまざまな活動主体の参加を得て機能的に活動できることをめざす。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
85	地域まちづくり実行委員会委員長会の開催	平成30年4月1日 地域課地域活動支援担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	各地域まちづくり実行委員会と区役所がより連携を深めていくために、区役所から地域への報告や要請、協力依頼事項及び区施策への協議・議論の場として、各地域まちづくり実行委員会委員長等と意見交換を行うとともに、各地域まちづくり実行委員会相互の情報交換や情報共有の場という位置づけのもと、みんなで決めて、みんなで働き、活力を生み出す『住み心地の良いまち』を、住民協働参画の方向で推進することを目的とする。
	内容	地域において準行政的な活動を実施する地域まちづくり実行委員会それぞれの地域において、地域が抱える課題や問題についてオフィシャルな協議・議論の場としながら、地域の課題解決やまちづくりを推進していく。また、地域まちづくり実行委員会委員長会で審議・協議を行い、区施策への意見・要望へ向けて議論の取りまとめを行う。
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内全10地域まちづくり実行委員会委員長
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ～ 3月			—	-
4 ～ 6月	【5月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 事業実施における概要説明など			
7 ～ 9月				
2 月 10 ～ 11	【10月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 意見交換など			
1 ～ 3月	【2月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 来年度予算など事業説明 【3月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 新年度事業概要説明など			
備考	(9月)地域まちづくり実行委員会委員長会開催、意見交換など、を10月に繰り延べ。 (12月)地域まちづくり実行委員会委員長会開催、意見交換などを2月に繰り延べ。			

項 目		内 容	
講座・イベント・会議名		地域まちづくり実行委員会委員長会	
イベント等開催関係	開催日時	年 4 回	
	開催場所	区役所会議室	
	区役所の主催等	主催 共催 協賛 後援 その他(事務局)	
	その他主催団体・組織等		
	共催団体・組織等		
	後援団体・組織等		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)		
	その他留意事項		
	イベント等当日 タイムテーブル	依頼・報告事項エントリーシート及び関係書類の提出開催 10 日前：代表幹事とのレク開催 8 日前：区長とのレク 7 日前 委員長会 14：00～ 区長あいさつ 14：05～ 依頼・報告事項及び質疑応答・意見 14：15～ まちづくりセンターからのお知らせ 14：45～ 情報交換会(事例発表会) 15：00～ 終了	
	挨拶者		
	来賓紹介		
祝電紹介の方法			
動員の方法			
その他、他課との連携等	準行政的に地域運営を行なう地域まちづくり実行委員会の委員長による会議であり、区行政に密接にかかわってくることから、全庁的に連携し、意見交換・情報共有等していく必要がある。		
前年度実績			
業績目標	各地域まちづくり実行委員会が、独自の取り組みを実施する中で、地域で生じた問題・課題の解決につなげるため、地域まちづくり実行委員会相互で意見交換できる場をつくる。	結果	評価
		実施済 (4回開催)	
成果目標	地域活動協議会(地域まちづくり実行委員会)の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合。 【平成 29 年度】80% 【平成 30 年度】前年度以上(70%)	45.2%	×
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 ・地域福祉、地域防災、そして小学校区単位の地域コミュニティの充実強化を図り、より円滑でこと細かな情報の交換・共有を行う。		

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
86	新たな地域コミュニティづくりに向けた中間支援組織の活用	平成30年4月1日 地域課地域活動支援担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域において、地域防災や地域福祉をはじめさまざまな地域課題に取り組むため、民間の専門的な知識やノウハウを幅広く活かす観点から、多様な機能や特性を持った中間支援組織を活用して、自律的な地域運営の仕組みづくりを支援する。
	内容	地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体間の連携・協働に向けた支援や、開かれた組織運営、会計等の透明性確保に向けた助言・指導</li> <li>・地域における担い手確保や人材育成等への助言・指導</li> <li>・幅広い世代の住民の地域活動への参加・参画を促すため、事業の効果的な実施を支援</li> <li>・多様な地域活動との連携・協働に向けたネットワークづくりへの助言・指導</li> <li>・自主財源の獲得に向けた情報提供や申請等手続きの助言・指導</li> </ul>
	予算額(予算科目)	13,860千円
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内全10地域まちづくり実行委員会をはじめ、市民、NPO、企業などの活動主体
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	活力ある地域社会づくりに向けて、各種地域団体等多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれの特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題や、地域の実情に合わせた自律的な地域運営の実現に向けて支援を行うこととしており、このような取組を促進するためには、民間事業者の柔軟な立場から、各種団体の人材育成や資金確保を支援し、様々な団体の活動情報を幅広く発信するとともに、連携・協働のための橋渡しの役割を担ううえで、手法の独創性や類似業務に関する専門知識、経験など、価格以外の要素も含めて総合的に判断する。
	仕様書のポイント	民間事業者の高いノウハウや経験、行政にはない新たな発想から、当事業の目的である、地域福祉・地域防災機能の強化、地域コミュニティの活性化、多様な協働の推進による活力ある地域社会づくり、地域活動の活性化など、自助・互助・共助の視点を意識した活力ある地域社会づくりの実現につながる企画提案を求める。
	選考委員等選定方式	まちづくり、地域コミュニティの運営に関する有識者

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	【1月】プロポーザル公募開始 【3月】プレゼンテーション・選定会議			
6月 4	【通年】適宜情報提供・地域の要望により支援員派遣 指導・助言 【4～6月】会計実務者説明会(全10地域)			
9月 7	【通年】適宜情報提供・地域の要望により支援員派遣 指導・助言			
12月 10	【通年】適宜情報提供・地域の要望により支援員派遣 指導・助言			
3月 1	【通年】適宜情報提供・地域の要望により支援員派遣 指導・助言 【1月】プロポーザル公募開始 【3月】プレゼンテーション・選定会議			
備考	(7～3月)【通年】適宜情報提供・地域の要望により支援員派遣 指導・助言、を追加			

項 目		内 容			
講座・イベント・会議名		—			
イベント等開催関係	開催日時	—			
	開催場所	—			
	区役所の主催等	主催	共催	協賛	後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—			
	共催団体・組織等	—			
	後援団体・組織等	—			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—			
	その他留意事項	—			
	イベント等当日 タイムテーブル	—			
	挨拶者	—			
	来賓紹介	—			
	祝電紹介の方法	—			
	動員の方法	—			
その他、他課との連携等		—			
前年度実績		地域活動をしている人のうち、区役所が中間支援組織と連携して各地域の実情に応じた一体的・総合的な支援を行っていると感じている人の割合 91.3%			
業績目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域活動協議会の会議の場などで説明を行った回数 : 2回</li> <li>・各団体に対して、活動が形骸化することのないよう活動目的を改めて確認するきっかけとなる機会を作った回数 : 2回</li> <li>・市民活動総合ポータルサイトへの各団体の登録件数 : 1件</li> <li>・新たに地域活動協議会とNPO及び企業等が連携し取組を行った件数【平成29年度】5件 【平成30年度】5件</li> <li>・各団体に対し、短時間や短期間だけ活動に参加できるなど、誰もが気軽に活動に参加できるための仕組みや工夫に関する情報を提供する回数 : 2回</li> </ul>	結果 ・52回 ・3回 ・0件 ・5件 ・3回	評価 ×	
成果目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合【平成29年度】80% 【平成30年度】前年度以上(83%)</li> <li>・地域活動協議会を知っている区民の割合【平成29年度】30% 【平成30年度】35%</li> <li>・総意形成機能を認識している地域活動協議会の構成団体の割合【平成29年度】各地域活動協議会からの推薦を受けた区政会議の委員を選定【平成30年度】前年度以上(61%)</li> <li>・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合【平成29年度】75% 【平成30年度】前年度以上(81%)</li> <li>・派遣型の地域公共人材が活用された件数【平成29年度】1件 【平成30年度】1件</li> <li>・区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数【平成29年度】1件 【平成30年度】1件</li> <li>・市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数29年度の窓口への問合せ件数(平年度化したもの)の10%増(平成29年度問い合わせ件数1件)</li> </ul>	・80.9% (構成団体アンケート) ・42.7% (市民局アンケート) ・53.8% (構成団体アンケート) ・77.3% (構成団体アンケート) ・2件 ・0件 ・5件	×	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由		《中期展望(3~5年)》 ・地域の自律的な運営に向けて地域の実態に応じた対応を行うとともに、地域福祉・地域防災の機能を強化できるよう継続的にサポートを行い、地域活動協議会が地域包括支援体制の地域側の窓口として活動する。			



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
87	地域担当制の推進	平成30年4月1日 地域課地域活動支援担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区の各地域の住民による主体的な取組みを支援し、地域課題の解決のために区民と協働した取組みを推進することを目的とする。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や活動への参加、地域の担い手へのヒアリング等を行うことによる地域や地域活動の現状や課題を把握及び整理</li> <li>・市や区の制度、事業、予算など、地域の活動に役立つ情報の提供</li> <li>・地域の主体的な連携・協働の取組みに必要な支援の実施</li> <li>・地域活動協議会( )の運営のための支援の実施</li> <li>・地域だけでは解決できない課題について、その課題解決に向けての地域と協働した取組み</li> <li>・各地域担当間、各課を横断した情報共有及び課題解決策の検討を行うための地域情報連絡会の開催</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">大正区では地域まちづくり実行委員会 (根拠要綱：大正区役所地域担当職員設置要綱)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域担当者と連携協力の上、統計データも活用して、地域ごとに、人口動態などの地域特性や地域課題、地域活動協議会の活動状況や運営上の課題などについて、客観化・明確化するための「地域カルテ」の作成を支援し、各地域活動協議会との間で認識共有する。</li> </ul>
	予算額(予算科目)	—
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内全10地域まちづくり実行委員会
	契約・入札方法	
委託関係	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 } 3月		-	-
月	4 } 6	各地域の地域団体の会議等へ出席 地域情報連絡会への出席 地域包括支援体制の構築に向けた支援		
	7 } 9月	各地域の地域団体の会議等へ出席 地域情報連絡会への出席 地域包括支援体制の構築に向けた支援		
2月	10 } 1	各地域の地域団体の会議等へ出席 地域情報連絡会への出席 地域包括支援体制の構築に向けた支援		
	1 } 3月	各地域の地域団体の会議等へ出席 地域情報連絡会への出席 地域包括支援体制の構築に向けた支援		
考 備				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	各地域で開催する会議及びイベントなどの行事等に出席して地域情報やニーズの把握を行い、地域情報連絡会において報告するとともに、行政情報を地域に提供する。			
前年度実績	<p>地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 【平成29～31年度】 受験率100%、かつ、理解度 全員95点以上</p> <p>地域活動協議会(地域まちづくり実行委員会)の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 【平成29年度】80%</p>			
業績目標	<p>会議及びイベントへの地域担当制職員の出席率80%以上を目標とする。</p> <p>地域包括支援体制の構築に向けた支援</p>	<p>結果</p> <p>・100%</p> <p>・12回</p>	<p>評価</p>	
成果目標	<p>地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 【平成29～31年度】 受験率100%、かつ、理解度 全員95点以上</p> <p>地域活動協議会(地域まちづくり実行委員会)の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 【平成29年度】80% 【平成30年度】前年度以上(83%)</p>	<p>・100%</p> <p>11人中6人</p> <p>・80.9%</p> <p>(構成団体7ヶ)</p>	×	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	<p>《中期展望(3～5年)》</p> <p>各地域で開催する運営委員会や、地域活動協議会などの行事等に出席し区政・市政と地域のパイプ役として良好な関係を構築し、区政・市政等の情報提供をするとともに地域の現状や課題を的確に収集・把握し区政に反映させる。また地域からの意見や要望等に対し解決を図っていく。</p>			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
88	大正区民ホールの管理運営（直営）	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
	内容	施設利用申込の手続き、利用方法諸手続きの説明、予約・申込受付、使用料の徴収、使用許可書の交付、諸設備、機器、設備等の管理、貸出、点検立会い、補修指示等
	予算額（予算科目）	58千円（消耗品費）、1,366千円（光熱水費）、994千円（建物修繕料）、2千円（通信運搬費）、3,559千円（委託料）
	事業・業務実施期間（回数）	通年（4月～3月）
	事業・業務対象者（人数）	主に区内在住・在学・在勤の方
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 ┆ 3 月			—	—
4 ┆ 6 月	随時：施設利用申込の手続き、利用方法諸手続きの説明、予約・申込受付、使用料の徴収、使用許可書の交付、諸設備、機器、設備等の管理、貸出、点検立会い、補修指示等			
7 ┆ 9 月	同上			
10 ┆ 12 月	同上			
1 ┆ 3 月	同上 【3月】優先使用団体にかかる別表の改正			
備考	【3月】優先使用団体にかかる別表の改正、を追加			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	平成 29 年度実績 ・利用率 41.7% ・利用者数 33,433 人			
業績目標	区HP等を活用し、利用者数を前年度より増やす	結果	評価	
		34,792 人		
成果目標	年度毎の利用率：50%以上 利用者満足度調査において「満足している」との回答割合：60%以上	利用率：47.2% 満足度：67.6%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望（3～5年）》 施設の設置目的に沿った利用がなされることで、大正区におけるまちづくり活動の強化に寄与している。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 設置目的に沿った施設の利用により、コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進、連帯感あふれるまちづくりの推進が図られることから、大正区におけるまちづくり活動の強化に寄与するものと考えられるため。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
89	大正会館の管理運営（指定管理者）	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
	内容	施設管理運営業務、徴収事務委託契約に基づく使用料徴収及び収納事務、施設総合管理業務、その他施設の設置目的に資する自主事業の実施。また利用率向上に向けた認知度の向上も併せて図る。 自主事業にかかる優先使用・使用料免除のあり方について、区長会議における議論の推移を注視しながら、適正化を図る。
	予算額（予算科目）	26,996千円（委託料）
	事業・業務実施期間（回数）	通年（4月～3月）
	事業・業務対象者（人数）	主に区内在住・在学・在勤の方
委託関係	契約・入札方法	公募（総合評価方式）
	募集要項のポイント	地域コミュニティの拠点としての施設の設置目的と、地域活動に係る利用実態との整合性を保ちながら会館の目的と役割を踏まえた自主事業を実施すること
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	契約管財局との事前協議

	スケジュール（実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等）	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月			—	—
4 6月	【4月】各種協定・委託契約締結。事業計画書等提出。 【随時】大正会館指定管理者との施設管理運営業務の調整。施設利用申込みの受付及び許可書の交付(使用料の徴収含む)。補修等を含む施設の良好な維持管理。 【毎月】指定管理者による自己点検・結果報告 【四半期毎】事業報告書提出、調整会議の実施			
7 9月	【7月】前年度事業報告書等に基づく評価の実施 【8月】評価の公表 【9月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査			
12月 10月			—	—
1 3月	【3月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査			
備考	指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日 事業・業務概要欄に文言を追加			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	平成 29 年度実績 ・利用率 60.8% ・利用者数 69,301 人			
業績目標	区HP等を活用し、利用者数を前年度より増やす	結果	評価	
		70,232 人		
成果目標	年度毎の利用率：60%以上 利用者満足度調査において「満足している」との回答割合：60%以上	利用率：59.4% 満足度：79.4%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望（3～5年）》 施設の設置目的に沿った利用がなされることで、大正区におけるまちづくり活動の強化に寄与している。 《成果目標が中期展望に寄与する理由》 設置目的に沿った施設の利用により、コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進、連帯感あふれるまちづくりの推進が図られることから、大正区におけるまちづくり活動の強化に寄与するものと考えられるため。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
90	生涯学習の実施支援	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	本市の生涯学習計画を踏まえ、生涯学習推進員がまちづくり実行委員会の一員として、各種団体との連携を図りながら、身近な講座等の開催を通じ学習機会の提供を行うことにより、地域住民が自律的に生涯学習を進められるよう支援する。 区内の生涯学習施設や教育機関等と連携し、学習機会の提供並びに情報の取りまとめを行う。
	内容	生涯学習関連施設連絡会議、生涯学習推進員・区役所連絡会、生涯学習便りの発行、生涯学習ルーム運営支援
	予算額(予算科目)	852千円(委託料789千円、通信運搬費63千円)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル事業(84地域まちづくり活動の強化推進(地域版)に含めて公募)
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	生涯学習ルーム事業実施事務手続き説明会 生涯学習ルーム関係書類提出依頼	生涯学習だより (毎月発行)		
4 6月	4～6月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回) 連絡会において生涯学習ルーム事業の位置付けについて説明 6月 生涯学習推進員委嘱式	生涯学習だより (毎月発行)		
7 9月	7月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回) 9月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回)	生涯学習だより (毎月発行)		
10 12月	10月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回) 11月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回)	生涯学習だより (毎月発行)		
1 3月	1～3月 大正区生涯学習推進員連絡会(月1回)	生涯学習だより (毎月発行)		
備考	(4月～6月)連絡会において生涯学習ルーム事業の位置付けについて説明、を追加 (6月)大正区生涯学習推進区民会議、を削除			

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区生涯学習推進員区役所連絡会		
イベント等開催関係	開催日時	毎月第4木曜日(8月12月休会)		
	開催場所	大正会館会議室(予定)		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他(事務局)
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	—		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	大正区生涯学習推進員連絡会：10回実施 生涯学習だより発行(12ヶ月) 生涯学習ルーム講座：86講座、延べ参加人数17,105人			
業績目標	生涯学習ルーム 75講座、新規講座5講座 生涯学習だよりの毎月発行(12ヶ月) こんにちは大正による生涯学習フェスタに係る 記事記載	結果	評価	
		64講座 (内新規2件) 生涯学習だより12 か月発行 こんにちは大正10 月号掲載	x	
成果目標	地域または学校園に対し、学習の成果について何 らかの還元できたと答えた、生涯学習推進員の割 合：50%以上 区民意識調査において「生涯学習の機会の広がり を感じる」と答えた割合：55.4%以上	上：100% 下：44.1%	上： 下：x	
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3～5年)》 事業を通じて地域団体間の交流及び協働の場としての役割を果たすとともに、区民の わがまち意識・ふるさと意識の醸成につながっている状態。 地域コミュニティの充実のため、地域まちづくり実行委員会事業として自律的な活動 が行われている状態。			



## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
91	はぐくみネットの連携強化支援	平成30年4月1日 保健福祉課子ども・教育担当

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	「家庭」「学校」「地域」がさまざまな経験や学びを通じ、子どもの人間性を豊かにし「生きる力」をはぐくむため、はぐくみネット運営委員会がまちづくり実行委員会の一員として、学校教育支援の活動を行えるよう支援する。
	内容	子どもの成長に役立つ活動を通じて人と人のつながりをつくることをめざし、構成する諸団体やはぐくみネット運営委員会により、自主的、主体的に、休日や放課後などに子どもの体験教室や、 <b>大人と子どもが交流する催し、地域の子育て・教育について考える活動など自主的、主体的にとりくまれるよう、運営支援を行う。</b>
	予算額(予算科目)	703千円(委託料700千円、通信運搬費3千円)
	事業・業務実施期間(回数)	平成30年4月～平成31年3月
	事業・業務対象者(人数)	区内全般(はぐくみネットコーディネーターと連携)
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル事業(84地域まちづくり活動の強化推進(地域版)に含めて公募)
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選定方式	

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 3月	各小学校区におけるはぐくみネット事業説明会 行政財産使用承認依頼			
4 6月	はぐくみネット-事業の位置付けについて説明会を実施			
7 9月			-	-
10 12月			-	-
1 3月	各小学校区におけるはぐくみネット事業説明会 行政財産使用承認依頼			
備考	(4～6月)各小学校区教育協議会-はぐくみネット-事業に関する協定書集約、を削除し、はぐくみネット-事業の位置付けについて説明会を実施を追加。			

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		事務説明会		
イベント等開催関係	開催日時	(調整中)		
	開催場所	区役所会議室		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	調整中		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	—			
前年度実績	各校区はぐくみネット活動の参加者：計 8 1 4 名			
業績目標	各校区はぐくみネット事務局会議の開催(年1回以上) 各はぐくみネット関係者の「連絡会議」「公開研修」「研究発表会」等への参加	結果	評価	
		各校区で事務局会議、年1回以上開催 6月説明会に各校区関係者14名参加		
成果目標	「自身の活動により、子育て・教育の情報を地域で共有することが出来たと感じる」はぐくみネット協議会メンバーの割合：50%以上 参加者アンケートで「はぐくみネット事業への参加により、地域における教育支援に繋がったと感じる」と答えた割合：80%以上	上：95.5% 下：95.5%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する理由	《中期展望(3～5年)》 事業を通じて地域団体間の交流及び協働の場としての役割を果たすとともに、区民のわがまち意識・ふるさと意識の醸成につながっている状態。 教育コミュニティの充実のため、地域まちづくり実行委員会事業として自律的な活動が行われている状態。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
92	T-1 ライブグランプリの開催	平成30年4月1日 地域課

項目	内容	
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	若手アマチュアミュージシャンに演奏の機会を与え、区内の若者をはじめとする市民ボランティアと協働して「T-1 ライブグランプリ」を開催することで、若者世代が地域活動へ参画する契機を創出し、地域の活性化を図るとともに、新たな魅力を創造することにより、区への愛着を醸成する。
	内容	MC(司会)やPA(音響)等の運営側のスタッフを募集し、一緒に運営するとともに、来場者も審査員として参加する。グランプリを獲得したミュージシャンは、1年間区内で開催される地域活動や様々なイベントに区の音楽振興大使として参画する。
	予算額(予算科目)	271千円(報償金)、42千円(消耗品費)、41千円(通信運搬費)、934千円(委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	T-1 ライブグランプリの実施[予選2回(6月、9月)・ファイナル(12月)]
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	「T-1 ライブグランプリ」PR&魅力向上業務委託は、あらゆる広報媒体を活用し、集客力の向上を図るとともに、区民一人ひとりが、大正区に愛着と誇りをもてるような魅力あるライブイベントになるようイベントクオリティを高めることを目的として実施することを踏まえた提案を求める。
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選定方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度)	1 ~ 3月 【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考	【3月】区広報誌に「出演者・ボランティア募集」 【随時】区HP、FB、twitterに「出演者・ボランティア募集」「開催案内・報告」		
4 ~ 6月	【4月】委託契約締結。事業計画書等提出。出演者・ボランティア募集 【6月】予選第1回	【6月】区広報誌 「予選第1回開催案内」		
7 ~ 9月	【9月】予選第2回	【9月】区広報誌 「予選第2回開催案内」		
10 ~ 12月	【12月】ファイナル	【12月】区広報誌 「ファイナル開催案内」		
1 ~ 3月	【1月】実施決裁 【2月】入札募集、実施説明会 【3月】委託事業者の選考	【3月】区広報誌に「出演者・ボランティア募集」		
備考				

項 目		内 容		
講座・イベント・会議名		T-1 ライブグランプリ		
イベント等開催関係	開催日時	予選 2 回(6 月、9 月・ファイナル(12 月) 各 14:00 ~ 17:00		
	開催場所	大正区民ホール		
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等当日 タイムテーブル	14:00 開演 ( 13:30 開場 ) 14:05 出演者演奏開始 16:30 出演者演奏終了 観客投票・集計、結果発表、講評、区長挨拶 17:00 終了		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他、他課との連携等	平成 29 年度「T-1 ライブグランプリ」出演者と地域等とのマッチング回数：12 回			
前年度実績	参加者数 850 人 参加者アンケートで、事業を通じ大正区をより身近に感じたと答えた割合：約 76%			
業績目標	・区HP等の活用やイベントとしての魅力向上を図ることで、前年度より参加者数を増やす。 ・ICTを活用した市民との対話を促進する取組が新たに創出された件数：1件	結果	評価	
		参加者 800 人 取組 1 件		
成果目標	区民意識調査で事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：51.7%以上	46.9%		
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3~5年)》 事業を通じて、大正区におけるまちづくり活動を強化し、わがまち意識・ふるさと意識・地域への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。 区内で開催される地域活動への音楽振興大使としての参画など、若者世代の地域活動への参画のきっかけの一つとなっていることから継続を検討するが、成果目標を下回る場合、事業の再構築もしくは廃止を検討する。			

## 平成30年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当
93	ランチタイムコンサートの開催	平成30年4月1日 地域課

	項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区役所で音楽を鑑賞する機会を提供することにより、音楽文化の普及・振興を図るとともに、気軽に良質な音楽に触れる場のある区役所への親しみや区への愛着を醸成することを目的とする。
	内容	プロの演奏家による上質な音楽を年に4回、無料のミニコンサートとして区役所庁舎内において開催することで、来庁された区民に憩いのひとときを過ごしていただくことで区役所への親しみを深めてもらうとともにその機会をとらまえ区役所からの情報を発信する。
	予算額(予算科目)	150千円(委託料)
	事業・業務実施期間(回数)	[年4回(5月、8月、11月、2月 2月は新音楽振興大使の特別ライブのため委託外)]
	事業・業務対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	特名随意契約
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	区役所2階区民ロビー(さわやか広場)で、年間3回、昼食時にプロの演奏家によるミニコンサートを企画・実施する。 企画内容は、毎回異なる声楽や器楽演奏などの室内楽を基本とし、本業務目的を達成しうるプロの演奏家を派遣できるものに務委託する。
	選考委員等選定方式	—

	スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施等)	広報スケジュール (報告記事も含む)	スケ	作業
(前年度) 1 } 3月			—	—
4 } 6月	【4月】委託契約締結。事業計画書等提出。 【5月】ランチタイムコンサート開催。事業報告書提出。	【5月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示		
7 } 9月	【8月】ランチタイムコンサート開催。事業報告書提出。	【8月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示		
10 } 12月	【11月】ランチタイムコンサート開催。事業報告書提出。	【11月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示		
1 } 3月	【2月】ランチタイムコンサート(新音楽振興大使の特別ライブのため委託外)	【2月】 ・区広報誌、区HP ポスター掲示		
備考				

項 目		内 容			
講座・イベント・会議名		ランチタイムコンサート			
イベント等開催関係	開催日時	年 4 回(5 月、8 月、11 月、2 月) 各回 12:15 ~ 13:00			
	開催場所	区役所 2 階さわやか広場			
	区役所の主催等	主催	共催	協賛 後援 その他 ( )	
	その他主催団体・組織等	—			
	共催団体・組織等	—			
	後援団体・組織等	—			
	目標事業規模 (参加者・参加団体数等)	参加者 100 人			
	その他留意事項	—			
	イベント等当日 タイムテーブル	10:30	リハーサル		
		11:50	庁内放送		
		12:15	コンサート開始		
		13:00	コンサート終了		
	挨拶者	—			
来賓紹介	—				
祝電紹介の方法	—				
動員の方法	区広報誌・ホームページ、ポスター、チラシ等				
その他、他課との連携等	政策プロモーションとの連携し参加者に情報を発信				
前年度実績	年 4 回開催 参加者数 410 人、 事業を通じて区の魅力が向上したと感じると答えた割合：81.78%				
業績目標	区HP等を活用し、前年度より参加者数を増やす	結果	評価		
		570 人			
成果目標	区民意識調査で事業が区や地域への愛着の向上につながると答えた割合：53.3%以上	49.5%			
中期展望 及び 成果目標が中期展望に寄与する 理由	《中期展望(3~5年)》 誰もが身近に音楽をふれることのできる環境を整えることで、区における音楽文化の普及・振興と、世代を超えた区民の交流・ふれあいが促進されることで、わがまち意識・ふるさと意識・区への愛着心を高め、コミュニティを基盤とした地域防災活動、地域福祉活動をはじめとするまちづくり活動への参加が促進されるとともに、自らのまちは自ら守るという自立した意識のもと、自助・共助にかかる機運の醸成がより一層図られている。				